

大垣商工会議所 環境アクションプラン

1 趣 旨

世界的な脱炭素社会へ向けた動きが加速する中、政府内議論が急速に進み、2030年までに温室効果ガス排出量を2013年度比46%削減し、2050年にカーボンニュートラルの実現を目指すことと示されました。

今後、各地域および中小・小規模事業者に対する様々な取り組みに期待がなされ、温室効果ガス排出削減が求められることが予想されます。

大垣商工会議所では、地域の実情に合った独自の環境アクションプランを策定し、行政などとも緊密に連携しつつ、地域全体で地球温暖化対策の取り組みを推進して参ります。

2 基本方針

「SMILE SUPPORT」～会員事業所と共に成長しよう～をテーマに、事業所が環境経営に自主的・継続的に取り組むために必要な支援を行う他、会議所事務局運営においても、継続的に環境対策に取り組めます。

3 実施体制

- (1) 実施体制 当所地域振興委員会が主管し、計画を推進（担当：相談課）
- (2) 目標検証 毎年度、執行状況を確認し、必要に応じてアクションプランの見直しを実施します。また、当アクションプランを当所ホームページ上に公開します。

4 実施事業

- (1) 会員事業所の取り組みへの支援
 - ① 会員事業所の二酸化炭素（CO₂）排出量の実態把握を支援するため、会報「NAVI大垣」にて、日本商工会議所の「CO₂チェックシート」を周知し、活用を促進
 - ② 当所会報「NAVI大垣」、ホームページ、電子メール、SNS等を通じて、環境関連の補助金・助成金等の紹介（適宜）
 - ③ 環境経営に関連したセミナー等の開催（年2回以上開催）
 - ④ 先進事例等の視察見学会の開催（年1回以上開催）
 - ⑤ 環境社会検定試験（eco検定）の受験促進

(2) 地域・行政等と連携した取り組みの推進

- ① 県・市の環境に関するセミナーやイベント情報の発信
- ② 容器包装リサイクル委託業務の実施
- ③ 大垣市環境審議会への参画

(3) 事務局内の環境対策活動の推進

- ① 人材育成
 - ・ 環境に関連した講演会・研修会等への参加により、職員の意識向上、知識増を図る（年1回以上）
- ② 電力使用料の削減（各年度の電力使用量から1%の削減目標）
 - ・ 複合機の省電力設定、不使用時のPC電源切断等、OA機器の待機電力の低減に務める
 - ・ 会館内での不要時消灯の徹底や待機電力の削減
 - ・ 事務室や会議室の空調適温化（夏28℃、冬20℃を目安）
 - ・ クールビズ（5月～10月）、ウォームビズの実施（12月～3月）
- ③ 紙使用量の削減
 - ・ コピー用紙の使用量削減（各年度印刷ページ数から10%削減）
 - ・ 使用済封筒の再利用
- ④ 廃棄物排出量の削減
 - ・ 懇親会の食品ロスの削減のための食事時間の確保
 - ・ 職員のマイボトル持参の推奨
- ⑤ その他
 - ・ グリーン購入の実施（再生材料製品の積極的な購入）